

戦後80年 ちひろと世界の絵本画家たち 絵本でつなぐ「へいわ」

2025年3月1日(土)～6月1日(日)

主催：ちひろ美術館
 後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、
 (一社)日本国際児童図書評議会、
 日本児童図書出版協会、信濃毎日新聞社、
 市民タイムス、abn長野朝日放送、
 長野エフエム放送株式会社
 協力：童心社、福音館書店



1 いわさきちひろ シクラメンの花のなかの子どもたち
 『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)より 1973年

「へいわ」ってなんだろう？ 絵本を通して「へいわ」について考える

2025年は日本の敗戦から80年にあたります。いわさきちひろなど、戦争を経験した画家たちは、二度と戦争を繰り返してはならない、子どもたちにしあわせであってほしいという切実な思いを絵本に込めました。その思いは次の世代、さらにその次の世代の絵本のつくり手たちにも受け継がれ、子どもたちの心にたくさんの平和の種をまいてきました。絵本は大人たちにも、平和や戦争について考えるきっかけをあたえてくれます。

本展では、ちひろや世界の絵本画家たちが平和への思いを込めて描いた絵本や、戦争を描いた絵本を展示します。また、戦争のなかでの子ども時代をつづった黒柳徹子（ちひろ美術館館長）の自伝的物語『窓ぎわのトットちゃん』（講談社）とその続編も、ちひろの絵とともに紹介します。世界各地で戦争や紛争が続き、日本でも戦争への危機感が高まるいま、絵本を通して、さまざまな角度から平和について考えます。

1 展覧会の見どころ

戦後80年に開催するちひろ美術館の平和展

ちひろ美術館では、開館3周年の1980年に開催された、「ちひろ 平和への願い一つぶらな瞳 ちいさな手」から始まり、くり返し平和をテーマにした展覧会を開催してきました。戦後80年の今年、これまでの成果をふまえ、いわさきちひろと世界の絵本画家たちがつないできた平和への思いを見つめ直します。

〈展示室1・2 いわさきちひろ〉
ちひろ×トットちゃん
つたえたい記憶

展覧会の
見どころ **2**

『窓ぎわのトットちゃん』から44年、
トットちゃんからのメッセージ

1981年に刊行された『窓ぎわのトットちゃん』（講談社）は、黒柳徹子がトモ工学園での思い出をいきいきとつづった自伝的物語です。刊行から42年を経た2023年、黒柳は自らの戦争体験を伝えたいと、東京大空襲や疎開などのことをあらたに書き下ろした続編を発表、映画化もされました。本展では『窓ぎわのトットちゃん』とその続編に収録されたちひろの作品を、物語のエピソードとともに紹介します。



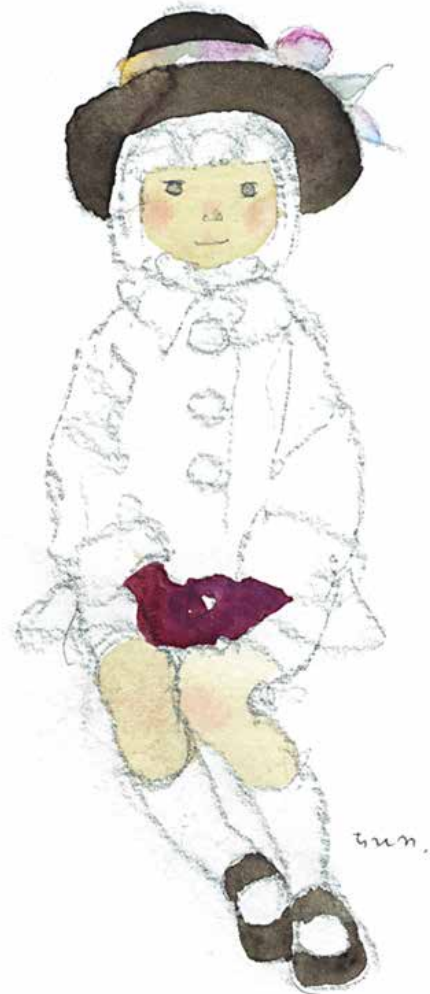
2 いわさきちひろ 赤い胸あてズボンの少女 1971年

ウクライナやガザの問題で子どもたちはどうしているのだろうと思ったとき、戦争のときに子どもだった自分はどうかだったか思い出しました。子どもにとって戦争の何が一番嫌かと言うと、自由ではない、何をやってもいけないということだと思います。

戦前を知る身としては、今の時代が確かにあの頃と似ていると思うことがあります。あのときは、いつの間にか戦争が始まり、私たちの気づかぬうちに、当たり前だった日常生活が失われていきました。そのことを知ってほしいと思って、『窓ぎわのトットちゃん』の続編で、私の記憶の中にある戦争と戦後のことを書きました。

黒柳徹子

(ちひろ美術館・館長、ユニセフ親善大使)



3 いわさきちひろ こげ茶色の帽子の少女 1970年代前半

〈展示室1・2 いわさきちひろ〉

3 展示会の 見どころ

ちひろが伝える広島原爆 絵本『わたしがちいさかったときに』

1945年8月6日、広島に原子爆弾が投下され、14万人ものいのちが奪われました。ちひろは1967年、被爆した広島の子どもの手記に絵をつけた絵本『わたしがちいさかったときに』（長田新編「原爆の子」他より 童心社）を作りました。彼女は、どんなにかわいい子どもたちがその場におかれていたかを伝えることに心を砕いています。日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）のノーベル平和賞受賞の記憶も新しい今こそ、子どもの心に寄り添うことで被爆の実相を伝えようとした、ちひろの平和への思いを届けます。

4 展示会の 見どころ

「へいわ」ってどういうとき？ しあわせな時間

家族や友だちと過ごしたり、好きなことに夢中になったりと、なにげない日々のくらしのなかに、しあわせを感じる時があるでしょう。ウクライナやガザなどリアルな戦場の映像は、おだやかな日常が戦争によって無残にも簡単に破壊されることを伝えています。本展では、最新刊の画集『ちひろの子どもたち ハッピータイム CHIHIRO'S CHILDREN Happy Time』（グラフィック社）に収録されたなかから、「ママとわたし」「みんないっしょ」「わたしのじかん」をテーマに、平和な情景を描いた作品も紹介します。

展示担当者から ひとこと

ちひろは、広島での取材先で眠れないほど葛藤しながら、『わたしがちいさかったときに』を描きました。黒柳は自らの戦争体験を伝えたいと、42年ぶりに『窓ぎわのトットちゃん』続編の筆をとりました。この展示が、そうした思いを若い世代につなぎ、「へいわ」を考えるきっかけになればうれしいです。

出展作品数

約90点



4
いわさきちひろ 見つめる少女
『わたしがちいさかったときに』（童心社）より
1967年



5 いわさきちひろ 「にじのはし」 1963年



6
いわさきちひろ
たんぼぼを持つ少女
1973年



7 いわさきちひろ ランドセルをしょって並んで歩く一年生 1966年



8
いわさきちひろ
お母さんと湯あがりのあかちゃん
1971年

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※掲載紙/誌をご送付ください。

〈展示室3・4 世界の絵本画家〉
世界の絵本画家たちがつなぐ
「へいわ」



9 エリック・カール (アメリカ) くじゃく 1991年
Eric Carle, Peacock. Collection of The Chihiro Art Museum, ©1999 by Penguin Random House LLC.



10 ウェン・シュウ (コスタリカ) 『ナディとシャオラン』より 2008年



11 伊藤秀男 (日本) 『けんかのきもち』(ポプラ社)より 2001年

5
展示の見どころ

ちひろ美術館コレクションから画家たちの平和への思いを知る

当館が所蔵する世界の絵本画家の作品を、画家の背景や平和への思いとともに展示します。「へいわ」ってなんだろう？と考えながらコレクションを見ると、新たな発見があるでしょう。

6歳のとき移り住んだドイツで第二次世界大戦を経験したエリック・カール (アメリカ) のように、戦争の記憶を直接は描かずとも、子どもたちの自由で想像力豊かな心を守るために絵本を描く画家たちがいます。また、ウェン・シュウ (コスタリカ) の『ナディとシャオラン』では、中国の切り絵とパナマのモラ刺繍を組み合わせた色鮮やかな場面が描かれ、多文化共生・異文化理解のすばらしさが感じられます。伊藤秀男 (日本) の『けんかのきもち』(ポプラ社) には、けんかし仲直りを受け入れるまでの少年の細やかな心理が描かれ、人とわかりあうためのヒントを与えてくれます。

〈展示室 3・4 世界の絵本画家〉

展覧会の
見どころ 6

絵本から平和と戦争を考える

いわさきちひろがベトナム戦争下の子どもたちを描いた『戦火のなかの子どもたち』（岩崎書店）。那須正幹が自身も被爆体験者として、子どもたちにもわかることばで広島原爆を解説し、西村繁男が現地取材しながら戦前から戦後までの広島を詳細に描いた『絵で読む広島原爆』（福音館書店 / 特別出品）。内田麟太郎と nakaban がともに非戦への願いを込め、近未来の戦争を描いた『ひとのなみだ』（童心社 / 特別出品）。戦争を描いた絵本を展示し、平和と戦争について考えます。

展覧会の
見どころ 7

ちひろ美術館が伝えたい平和の絵本

日本では、1950年の『ピカドン』（丸木位里 / 赤松俊子作、平和を守る会編、ポツダム書店）や、1967年の『わたしがちいさかったときに』（岩崎ちひろ絵、長田新編「原爆の子」他より、童心社）を先駆けとして戦争をテーマにした絵本が描かれ、70年代以降、多くの平和を考える絵本が出版されてきました。近年では、今まさに起きている紛争や社会問題を取り上げるものもあり、国外絵本の翻訳とともに、平和を考える絵本の出版はますます増えています。本展覧会では、ちひろ美術館がセレクトした国内外の平和を考える絵本を、展示室の壁一面に手に取れるかたちでご紹介します。

展示担当者から
ひとこと

戦争を知り平和を学ぶのは、ときにはつらく苦しいこともあるかもしれませんが、絵本は平和へのヒントを、さまざまな方法で私たちに届けてくれます。現代までつないできた世界の絵本画家たちの平和への思いとともに、戦後80年のいま、平和とはなにかを見つめ直してみませんか？

出展作品数

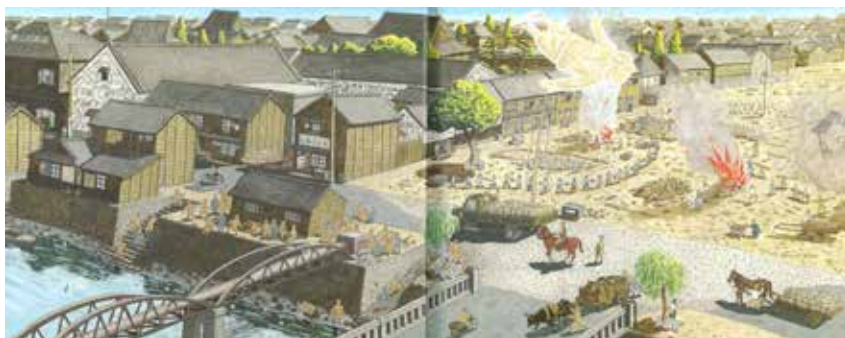
約90点



12 いわさきちひろ 少年
『戦火のなかの子どもたち』（岩崎書店）より 1973年



13 nakaban (日本)
『ひとのなみだ』（童心社）より 2024年（個人蔵）
※特別出品



14 西村繁男（日本）『絵で読む広島原爆』（福音館書店・印刷物）より 1995年（個人蔵）※特別出品



15 エフゲーニー・ラチョフ（ロシア）
『てぶくる（ウクライナ民話）』（福音館書店）より 1950年

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※掲載紙／誌をご送付ください。

●2025年 年間スケジュール

●6月6日(金)～8月31日(日)

- ・ちひろの いろ せん かたち
- ・でなわけ20年。魅惑のチョウ、シンタ展
- ・ちひろ美術館コレクション もようをみよう

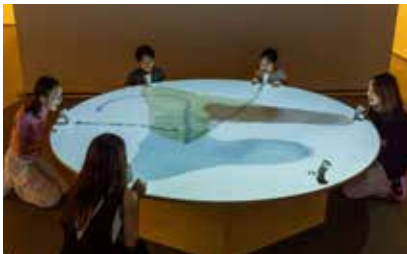
●9月5日(金)～11月9日(日)

- ・ちひろ 本を読む人 本を描く人
- ・ヒロシマ・トマト 歴史を旅する つかさ おさむ 司 修展
- ・ちひろ美術館コレクション 生誕220年 アンデルセンの絵本

展覧会関連イベント

●plaplaxの「だぁ・いー・あ！ログ」も出展！

昨年の「いわさきちひろ ぼつこ50ねん こどものみなさまへ みんな なかまよ」展のためにplaplaxが制作した参加型の作品「だぁ・いー・あ！ログ」を多目的展示ホールに展示します。テーブルの周りで声を出すと、絵の具のにじみやパステルの線があらわれ、混ざりあったり、弾きあったり……まるで色が対話しているよう。対話のテーブルから平和を考え始めてみませんか？



plaplax 「だぁ・いー・あ！ログ」2024年

●ワークショップ
「想いをつなぐにじみのガーランド」

「へいわ」展の会期中、だれでも自由に参加できるワークショップを開催します。にじみのカードに、平和へのメッセージを書いて、ガーランドに飾りましょう。



●あかちゃんとおでかけしよう！
ファーストミュージアムデー

日時：4月12日(土) 10：00～11：00
参加費：無料(入館料別)／定員：親子10組
対象：0～2歳児と保護者
申し込み：要事前予約
(公式サイト、TELにて)

あかちゃん絵本の読み聞かせや展覧会の作品鑑賞ツアーを親子でいっしょに楽しみましょう。



●ギャラリートーク

日時：3月15日(土)・4月19日(土)・5月17日(土) 14：00～15：00
参加費：無料(入館料別)／定員：20名／申し込み：不要
開催中の展覧会の見どころを学芸員がわかりやすく解説します。

そのほかのイベント

●4月19日(土) 開館記念日

4月19日は、ちひろの心のふるさと、信州・松川村に当館が開館して28年目の記念日です。当日ご来館の方、全員に、ポストカード(非売品)をプレゼントします。



●ちいさなおはなしの会 at 絵本カフェ

日時：3月22日(土) 11：00～
参加費：無料(入館料別)／定員：20名／申し込み：不要
絵本カフェにて絵本の読み聞かせを楽しみましょう。

●絵本のじかん

日時：3月1日(土)・4月5日(土)・5月3日(土)
11：30～12：00
参加費：無料(入館料別)
定員：20名／申し込み：不要
季節や展示にあわせた絵本の読み聞かせを親子で楽しみましょう。



いわさきちひろ 絵本をめくるあかちゃん
「意味のはじまり」1965年

安曇野ちひろ公園イベント

●まつかわ花咲きまつり

日時：3月23日(日) 9：30～15：00
会場：安曇野ちひろ公園
問い合わせ先：松川村役場経済課商工観光係 TEL.0261-62-3109
松川村の春を彩る、毎年人気のイベント。いわさきちひろの作品を色とりどりのパンジーで表現する地上絵や、パンジーの即売会、マルシェも開催します。

展覧会基本情報

展覧会名	戦後80年 ちひろと世界の絵本画家たち 絵本でつなぐ「へいわ」
会期	2025年3月1日(土)～6月1日(日) ※会期は予告なく変更になる場合があります。 ○開館時間＝10：00～17：00 ※GW(4/26～5/6)は9：00～17：00 ○休館日＝水曜日(祝休日は開館、翌平日休館) ※GW(4/26～5/6)は無休
入館料	大人1200円／18歳以下・高校生以下無料 団体(有料入館者15名以上)、65歳以上、学生の方、18歳以下の子どもに同伴する保護者(子ども1名につき2名まで)は900円／障がい者手帳ご提示の方とその介添えの方(1名)は無料／年間パスポート3000円
交通	○電車の場合＝JR大糸線信濃松川駅より約2.5km (タクシー5分、レンタサイクル15分、徒歩30分) ○車の場合＝長野自動車道安曇野I.C.より約30分

*最新のイベント情報は公式サイトでご案内しています。

※イベントおよび開館情報、会期、展示名は予告なく変更になる可能性があります。最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。お問い合わせください。